



四谷地域センター運営委員会コミュニティ誌 令和4年3月発行 No.118

【四谷地域センターのホームページ URL は <http://ycc.tokyo/>】



シリーズ「四谷の公園」

〜 新宿公園 〜

新宿二丁目、太宗寺の北側にあり花園通りに面した公園です。

二〇一五年に地域の皆さんの意見を取り入れて改修され、とてもきれいになりました。

噴水や子供向け遊具、健康器具などもあり、町会から寄付された高遠彼岸桜が春を彩ります。

なお、この公園には開園時間があり、夜間等入園出来ない時間帯があります。

注

感染拡大!

引き続き マスク、うがい
手洗い 忘れずに!
マスクに鼻も入れましょう

文化の街 あれこれ

国民公園 新宿御苑

～御苑の花便り 春の櫻～



御苑の桜

染井吉野が満開の最盛期には一日に数万ともいわれる人々が新宿御苑を訪れ大賑わいします。御苑内には約 1000 本を超える桜が植えられておりその種類も約 68 種あると言われています。春の盛りの代表はおなじみの「染井吉野」ですが、早春には早咲きの彼岸桜や寒桜などが晩春には一葉や関山などの八重桜が開花し、さらに晩秋には十月桜や小福桜なども咲いて秋から春にかけて桜を楽しめます。



それでは、そのほんの一部を紹介します。

【盛春】**染井吉野**=樹齢 100 年程の染井吉野は約 20 本あり満開の老大木は御苑の桜の王様。園内の随所で観られる。江戸彼岸と大島桜の雑種。**江戸彼岸**=春のお彼岸頃に咲く。東北から九州に広く分布。整形式庭園近くの風景式庭園にある。**高遠小彼岸**=江戸彼岸の雑種。長野県伊那市高遠城址に多数植栽されている。当地域センターの正面入口の横にも植えられている。玉藻池の畔など。**大島桜**=伊豆諸島などに分布。葉は塩漬けにし桜餅に用いられる。園内各地。**山桜**=南関東などに咲く野生の桜。千駄ヶ

谷門近くの並木ほか。**枝垂桜**=江戸彼岸の栽培品種。枝がまっすぐに垂れ下がる。園の東と西。【晩春】**一葉**=八重咲、1~2 本の雌しべが葉のように見える。園内の東方に多数。**関山**=八重桜と言えばこれ。サトザクラの栽培品種。園内各地。【秋咲】**十月桜**=10 月ころから翌春にかけて断続的に開花。管理事務所前、千駄ヶ谷門付近。**小福桜**=秋から翌春に咲く。開花しない事もある。管理事務所の西。【早春】**寒桜**=秋から咲き続ける桜を除くと最も早く咲き始める。日本庭園。**河津桜**=静岡県河津町では数千本が植えられている。2 月~3 月に開花。管理事務所とサービスセンター前。

ご紹介したように春の盛り以外にも時期によって園内にどこかで桜が開花しています。季節外れに桜を見つけるのもまた一興です。なお、お花見の最盛期は特に混みあいますので「酒類の持ち込み禁止・遊具類の使用禁止」また「マスク着用・三密防止」などのルールを守って楽しんでください。



写真提供「環境省新宿御苑管理事務所」
参考・勝木俊雄著「新宿御苑の桜」

【 四谷地域センター運営委員会 主催事業のご紹介 】



手作り作品講習会

「お正月飾りを作ろう」

コロナ禍の中、去る11月下旬『来年のお正月はお花を飾って・・・』と参加人数も10名と決め、久しぶりに講習会を計画。係としても気持ちが嬉しく先の明るさが見え始めました。当日参加して下さった皆さんの活気あふれるお顔に待っていて下さったのを感じ、やって良かったと思いました。松と白い椿、南天、飾りは金と銀の水引、シンプルな中にも凛とした個性あふれる作品に仕上がりました。こんな時期ではありますが、少しでも地域の皆さんとのふれあいを大切に思っております。

zoomによる オンライン講座

年末の大掃除に向けて 整理収納実例講座
～自宅がもっと好きになる～



当地域センター初のオンライン講座を開催しました。参加者の皆様とはいつもの様に直接お会い出来ず寂しい気持ちもありましたが、コロナ禍での感染を気にせず実施出来ました。講座では図や写真を見ながら、整理や収納の考え方、解決方法のきっかけのほか、実際に講師が整理収納の依頼人宅に訪問した際の話も聞くことも出来ました。最後の質疑応答では参加者の方から整理収納のお悩みが挙がり、思わず『あるある』と隣で聞いている気持ちになりました。

後日、参加された方で講座の通りにさっそく実践して頑張っているという声をお聞きする機会もあり、今後も皆さんに何か少しでも役立つ講座が開ければと思います。

料理講習会 ～クッキー作り～



焼けてきた♪

去る12月18日(土)、料理講習会「内藤とうがらしを使ったクッキーを作ろう!」を、徹底した感染防止対策の中で開催しました。「緊急事態宣言」や「まん延防止」が続いた為、募集人数を減らし、密にならないように少ない人数ではありましたが久しぶりの料理講習会を実施する事が出来ました。

作業していくうちに最初の緊張感もほぐれ、楽しい雰囲気の中でクッキー作りが出来ました。冷蔵庫で休ませたクッキー生地をスティック状にカットして焼いたお菓子で、内藤とうがらしは量を調整出来るので小さなお子様でもお召し上がりいただけます。子どもたちの「早くお父さんに食べさせてあげたい!」という優しい声に、皆さん感動し、さらに場を和らげてくれました。また、焼き時間の間には坂本講師がマドレーヌを手早く作って下さり皆さんに振舞ってくれました。

今後もステイホームは続きそうです。家族でクッキー作りに挑戦しては如何でしょうか。お部屋の中にも、お口の中にも、バターやチーズの香りが広がり、和やかな時間が過ごせるでしょう。

四谷地域センター地域協働事業 冬休み書初め練習会

毎年恒例の事業ですが、今回は多目的ホールがワクチンの接種会場となっており使用出来ない為、2つの集會室を繋げて実施しました。狭い会場となりましたが、子ども達はかなり集中した様子で真剣に「書」に取り組んでいました。子どもの書初め事業を始めて何年も経ちますが、この事業に参加していた小学生が今は大学生となり講師やスタッフのお手伝いとして参加してくれています。



四谷子ども園15周年

園長 古川 ワカ



東京都で第一号の幼保連携型認定こども園となった四谷子ども園は令和4年度で15周年を迎えます。四谷第三幼稚園、四谷第四幼稚園、三栄町保育園が統合し、まだあまり知られていなかった「こども園」として四ツ谷で産声を上げました。

四谷子ども園の園章は大空に広がる躍動感と子どもたちを優しく包み込むというイメージで3園を羽で表現し、その羽は四谷の地名、四谷子ども園のインシャルYを圖案化しています。また、周囲は明るい太陽のような子どもらしさを象徴したそうです。園歌の「光のこども」は当時、新宿区四谷に在住されていた漫画家のやなせたかし氏に作詞と作曲をお願いし、子どもたちはこの歌が大好きで様々な場面で歌っています。15年前、園章や園歌に込められた未来への希望を、今の私たちが受け継いでいます。初代園長から私は4代目の園長にな

りますが、四谷子ども園が幼稚園でもあり、保育園でもあるという、一見同じようなことをしているように見られがちな施設の機能を折り合わせ、それぞれの強みを生かしながら15年の日々を重ねてきました。

本園の特徴は、四谷小学校との交流、地域の方との交流、異学年の交流などが挙げられます。人との関わりや地域とのつながりを大事にしてきた園ですが、コロナ禍という10周年の時には考えもしなかった社会の変化に戸惑っています。しかし、どんな状況でも子どもが主体的に元気に遊び、保護者が信頼し安心して我が子を預けられ、地域の方々の温かい見守りと支えを得られる園でありたいと思っています。



これからも「四谷の子どもは四谷で育てる」というスローガンと共に、この先、もっと愛される四谷子ども園になるよう教職員一同で努力をしていきます。どうぞ今後よろしくお願いたします。



編集後記

「コロナ」が始まり三年、また春が巡ってきました。四季折々、季節の移ろいに心をとめるゆとりもないままの日常です。四谷地域センターも様々なことが変わりました。そんな中だからこそ人と人の「ふれあい」「寄り添い」を大切に思っています。

私達は自分なりに出来る事をしっかり守り実行していきましょう。マスクのとれた皆様の笑顔にお会いできる日を待っております。